

誰でも遊べるおもちゃの兵隊

構成員		代表者	西裕美子	(工4年)	
	廣島淳子	(工4年)	森宗健	(理工M2)	大田慎一郎 (理工D2)
	田中文	(工4年)			

1. プロジェクトの目的

- ・肢体不自由児のリハビリテーション効果があるスイッチの開発
- ・視覚・触覚で簡単に楽しめる、手作りおもちゃの作製

2. プロジェクトの内容

宇部市内にある療育園「うべつくし園」に通う肢体不自由な園児さんを対象に、「運動機能・能力の獲得」を支援する「スイッチ」および「おもちゃ」の開発を行う。今年度は、園児さんが視覚・触覚を使って楽しめるおもちゃを作り、自らそのおもちゃを使い園児さんと触れ合う機会を増やし、園児さんの色々な反応を見ながら障害に対する知識を深める。

3. 活動内容

①おもちゃ作製

歌紙芝居・フェルト生地の人形の作製と、昨年までに提供したおもちゃやスイッチの故障確認。

歌紙芝居では、園児さんが口に入れてもいいように表面をラミネートし、角を丸くした。また、色彩豊かにし、視覚をフル活用し楽しめるものにした。

園児さんは、さわり心地にも敏感だと耳にしたので、市販のぬいぐるみではあまりないフェルト生地の人形を作製し、園児さんの反応を見た。



フェルト生地のおもちゃ



「おばけなんてないさ」の歌紙芝居

②福祉施設見学

国立身体障害者リハビリテーションセンター，国立職業リハビリテーションセンターを見学した。

センターでは，障害のある方々に医療・福祉の面から総合的なリハビリテーションサービスを行い，それに伴った研究を行いその成果を全国に発信，普及することにより，障害者の自立生活，社会参加の推進を行っていた。国立職業リハビリテーションセンターでは，障害者及び企業のニーズにあった訓練，障害者の職業指導・就職支援が実施されていた。

これらの施設訪問を通し，障害を持った方々が個人の持つ能力を更に訓練で鍛え，社会で活躍するために努力する志の強さを目の当たりにした。



福祉施設見学の様子

③運動会ユニフォーム作製

つくし園で開かれた運動会のユニフォームを作製した。園児さん達が普段着用しているTシャツで作る事で，園児さん達が違和感を覚えないようにした。「つくし園」をイメージし，つくしをアニメ化しデザインした。



つくし園運動会ユニフォーム

④暮らし改善アイディア公開広場（宇部市障害者ケア協議会主催）

今回の活動を認知してもらうために，去年に引き続き，宇部市障害者ケア協議会が主催する「宇部市暮らし改善アイディア公開広場」に出展を行った。当日会場では，大人から子どもまで年代を問わず，おもちゃに触れ楽しんでもらい，私たちの活動を広く知って頂くことができた。



暮らし改善アイディア公開広場の様子